

きたひろしま

議会だより

vol.30
2012・11・1

第20回 乙九日炎の祭典(芸北雄鹿原)



第3回定例議会〈会期：9月6日～9月21日〉

- 平成23年度歳入歳出決算P2
- 平成23年度決算健全化判断比率・町税決算状況P3
- 平成23年度決算及び議案質疑・各決算の認定についてP4～6
- 平成24年度9月補正予算P7
- 一般質問 18議員が町政を問うP8～16
- 委員会報告P17
- 意見書提出P18
- がんばってます！（豊平東小学校・美和小学校）P19
- グループ紹介P20

平成23年度 歳入歳出決算

合計 232億4,829万円

平成23年度
北広島町会計別決算総括表

会計名	歳出決算額	
一般会計	164億4,455万円	
特別会計	国民健康保険会計	21億8,444万円
	下水道事業会計	6億6,603万円
	農業集落排水事業会計	3億6,525万円
	介護保険会計	24億6,529万円
	簡易水道事業会計	3億1,830万円
	電気事業会計	4,680万円
	芸北財産区会計	1,074万円
	診療所会計	1億5,618万円
	情報基盤整備事業会計	3億4,074万円
	後期高齢者医療会計	2億4,996万円
合計	232億4,829万円	

※四捨五入のため合計は一致しません。

水道事業会計	収益的収入	1億4,916万円
	収益的支出	1億3,018万円
	資本的収入	3,449万円
	資本的支出	6,344万円
	未処分利益剰余金 (当年度末残高)	9,653万円
	議会の議決による処分額 (減債積立金の積立)	94万円
	未処分利益剰余金	9,559万円

豊平病院事業会計	収益的収入	7億7,804万円
	収益的支出	8億1,585万円
	資本的収入	2,790万円
	資本的支出	5,608万円

◆決算審査特別委員会 審査結果◆

付託を受けました平成23年度北広島町決算認定関係13議案については、決算審査特別委員会として『認定』することに決定した。

なお、決算審査特別委員会での審査過程では意見、要望等も出ているので、今後の事業執行及び平成25年度予算編成の中に反映されるよう強く要望する。

平成23年度決算は、合併7年目を迎え、長期総合計画の基本目標である「地域を再生し、定住・交流の拡大」に向けて更なる地固めとステップアップのために、安全で快適な生活環境づくり・活力ある地域経済の創出を最重要課題として取り組みが進められている。

6日本会議において報告第3号、平成23年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告が行われ、実質公債比率は19.0%、将来負担比率は137.2%で行財政改革目標に着実に進んでおり、北広島町の財政は健全化に向かっていることは、数値的にも確認できる。

11日の本委員会で、「主要施策の成果に関する調書」を基本として、決算状況説明を受けた。

13日、14日、本委員会の質疑では、一層の財政の健全化を求めるために、各会計とも収入未済額に対して質疑が多く出された。特に町税、分担金及び負担金、使用料、財産収入等の取り組み、不納欠損へ至る過程。今後の対策、また徴収対策室との連携については具体的な質疑、応答が繰り広げられた。昨今の厳しい経済社会や雇用情勢を受け、町民の暮らしにも厳しさが増していると思われるが、公正公平の原則が求められる。

事業執行では、芸北に建設の若者定住促進住宅が好評で、次年度の志路原に続き各地域から要望も出ている。道の駅舞ロードIC千代田の第2期整備事業は、設計事業へと着々と進捗しているが、町民への情報発信不足なのか、町民の理解度が薄く問題提起もあった。他に新エネルギー問題、デマンドタクシー、巡回バス、雇用促進住宅購入、補助金支出等についても、質疑応答が繰り返されている。

本町も高齢化社会へ確実に進んでいるなか、高齢者に優しい、弱者に優しい社会形成が求められている。情報発信等についても、きたひろネットセンターを中心に広報も含めて、見る人の目線で事業展開をされたい。

本委員会の主旨は住民の生活、福祉向上を願う委員の思いである。今後の町政発展にご努力を求めて報告とする。

平成23年度 決算健全化判断比率

(単位：%)

健全化判断比率 区分	決算健全化比率				早期健全化 基準	財政再生 基準
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
実質公債費比率	22.4	22.3	20.6	19.0	25.0	35.0
将来負担比率	203.2	183.6	165.7	137.2	350.0	—

○実質公債費比率について

- 平成23年度は19.0%となり平成22年度と比較し1.6%改善している。早期健全化基準25.0%を下回っており、平成25年度18%未満の目標達成に向け順調に推移している。

○将来負担比率について

- 平成23年度は137.2%で、早期健全化基準350.0%を下回っており、順調である。

※実質公債費比率とは、地方債の元利償還金が財政に及ぼす負担を示す指標である。
18%以上になると起債の発行に国の許可が必要となる。
25%以上になると一般事業等の起債が制限される。

※将来負担比率とは、公社や出資法人も含め、自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率で、350%以上になると早期健全化団体となる。

平成23年度 町税決算状況

区分	調定額	決算額	徴収率	不納欠損額	
町民税	個人	7億868万円	6億6,545万円	93.9%	672万円
	法人	1億9,075万円	1億8,879万円	99.0%	32万円
固定資産税	16億9,893万円	16億251万円	94.3%	878万円	
軽自動車税	6,369万円	6,082万円	95.5%	46万円	
町たばこ税	1億1,941万円	1億1,941万円	100.0%	0	
入湯税	886万円	764万円	86.2%	0	
合計	27億9,032万円	26億4,461万円	94.8%	1,628万円	

※四捨五入のため合計が一致しない場合があります。

平成23年度収入総額は前年度より6,957万円の減となっている。法人町民税8,004万円、固定資産税が759万円と大きく減少している。町たばこ税は税率改正の影響なのか1,673万円の増となっている。調定額に対する徴収率は全体で94.8%であり、前年度より0.2%減少している。町税行政として税の賦課、徴収は公正公平が原則であり、事務処理の適正化には引き続き努力が求められる。

※不納欠損とは、滞納になった税金や使用料などが時効などにより徴収できなくなったとして請求権を消滅、放棄すること。

議案に対する 主な質疑

平成23年度各決算

【一般会計】

問 とよひら公園協会
出捐金3500万円は
以前の資料では200
0万円となっているが
答 提出資料の通り3
500万円であった。

問 土地売払収入の未
済額1800万円の見
通しは
答 詳細についてはい
えない

問 住宅新築資金貸付
金未済額などは連帯保
証人へ働きかけている
か
答 働きかけているが
厳しい情勢

問 雇用促進住宅を購
入したが入居は

答 70%で4月以降は
6戸(企業借上げ5戸)

問 スキー場の利用者
は

答 前年比90%

問 道の駅舞ロードの
収支は赤字ではないか
答 収入が4700万
円、支出が8300万
円

問 小学生の入院医療
費助成は52万円、通院
も無料にしては
答 今すぐやることは
考えていない

問 千代田中央公民館
の耐震診断をしておら

ず危険ではないのか
答 具体的計画はない
が考えていく

問 飾り牛保存会補助
金が少ないが関係者と
話し合ったか
答 これからであり、
早急に対応する

【国民健康保険会計】
問 国保法は「社会保
障」と規定。「相互扶
助」の考えはあらため
よ
答 研究する

問 滞納者に会わず資
格証を発行している例
は
答 ある。努力するが
今後の課題

【農業集落排水事業会計】
問 分担金の不納欠損
はなぜか
答 全く対応してもら
えず5年の時効による

【介護保険会計】
問 特養ホーム51増床
では足りないのではな
いか
答 待機者500人程
度。要介護者を増やさ
ないよう予防に努める

**【情報基盤整備事業
会計】**
問 引込線の未工事世
帯すべてに保安器を設
置する考えはないか
答 1303世帯あり、
現制度で推進する

【後期高齢者医療会計】
問 滞納対策は
答 納入に応じない11
人に差し押さえを実施

【水道事業会計】
問 新聞報道された認
可されていない水源は

どうなったか
答 壬生浄水場は水源
調査中で、代わりの水
源が見つかるまで現状
のまま

【総括質疑】
問 道の駅駅長給与へ
の雇用創出基金の充当
は不適切ではないか
答 新たな雇用の場と
して全国公募した

その他の議案

**【養護老人ホーム
仁愛園の指定管理への
条例改正】**
問 入所者、地域の合
意は
答 概ね合意いただい
ている

問 職員の待遇はどう
なるか
答 臨時職員、嘱託医
の継続は指定管理の条
件。正職員全てが希望
通りになるかどうかわ
からない。

平成24年度 補正予算

【一般会計】

問 除雪機購入事業の
要援護者とは
答 高齢者・障害者・
自力での除雪が困難な
世帯であり、行政区で
申請

問 町有住宅の需用費
450万円は
答 旧雇用促進住宅の
1棟の古い風呂の修繕
費。

問 騒音測定器4台の
設置時期は
答 予算通過後、早急
に入札し設置する

【簡易水道事業会計】
問 明神ハイツだけで
なく他団地の水道施設
の町移管も考えている
か
答 検討をすすめてい
く

陳情審査

【道の駅第2期工事の見直しを求める要望】

問 産業建設委員会では「採算がある」と判断したのか、なぜ要望者から意見を聞かなかったのか

答 道の駅特別委員会の報告を全員協議会に回り「まあ問題なからう」となった。ただ舞台装置等が少し華美だとの意見も出たので、それを添えて執行者に返した。そこで工事はスタートした。この段階で中止、元に戻す見直しはありえないと判断した。

発議

【町議会定数条例の制定】

問 20名を18名に削減する理由は

答 全国的な流れ、社会情勢を考慮した。

平成23年度

各会計決算の

認定について

賛成討論
反対討論

● 一般会計

反対討論

美濃孝二

雇用創出基金の
使途が目的外

2000万円もの土地売却代未回収、4000万円もの住宅新築資金貸付金未収金などに毅然とした態度を取らない、解放団体への補助金を廃止しない、国の雇用創出基金が「道の駅」の駅長給与に使われており目的外、「道の駅・緑の広場」の土地購入への国交付金の対象が評価額に対してであったため一般財源を5000万円投入したが、「知らなかった」ことは認識不足、築41年の千代田中央公民館の耐震診断を実施せず、具体的な計画もない。

● 国民健康保険会計

反対討論

美濃孝二

社会保障制度であり、
払える保険料に

国保法第1条は「社会保障の制度」であると規定しており、払える保険料にするため赤字補てんの繰り入れをするのは当然だが、実施しない。また資格証明書発行をやめず減免申請も行わない。

● 下水道事業会計

反対討論

美濃孝二

増設した
浄化センターは過大

巨額費用をかける公
共下水道より合併浄化

● 農業集落排水事業会計

反対討論

梅尾泰文

不納欠損処分は
不公平

不納欠損処分として1件134、864円ある。これは収入未済額として昨年、一昨年と同額が決算書に載っていた。3年間にわたってまったく納入されていない。しかし現在も町内に居住し下水を使用している。5年間納入がなければ時効になるという制度をもって不納欠損処分にすることは他の利用者に対しても公平とはいえない。

● 介護保険会計

反対討論

美濃孝二

保険料が高すぎる

高い保険料は重い負担。特養ホーム待機者500名に対し51床増の計画しかない。老々介護など家族に重い負担で、保険あつて介護なしの実態。町は国に改善を求めるとともに、1億円の介護給付準備基金の活用、全国の約100自治体が実施する一般会計からの繰入れなど努力が必要。

賛成討論

中田節雄

事業の運営は適切

介護給付費は高齢化に伴い今後も増加していくが、介護予防の事業に積極的に取り組み、

● 情報基盤整備事業会計

反対討論

美濃孝二

緊急放送が

全世帯に伝わらない

防災無線のない千代田ではすべての世帯に緊急放送が伝わらないのは自治体としての責任放棄。約6500万円で全町に残る1303世帯に引き込み線工事ができるが「現在の制度で推進する」との答弁ではいつまでたっても100%にならない。



●後期高齢者
医療会計

反対討論

美濃孝二
直ちに廃止すべき
制度

北広島町で保険料滞納での差し押さえは県内9町で一番多い。2年ごとに保険料が改定され75歳以上人口と医療費の増加に伴い際限なく上昇する。「医療内容の切り下げ」か「保険料値上げ」か、どちらをとっても痛みしかない選択を高齢者に迫るものであり、直ちに廃止すべき制度である。

賛成討論

中田節雄
運営は安定している

本事業の事務は広島県の全市町で構成する広域連合で行い、運営は安定している。しかし高齢化、医療技術の高度化に伴う医療費の



増加が見込まれ、今後
も厳しい運営が予想されるが、会計処理も適切である。

●養護老人ホーム
仁愛園設置
条例の改正

反対討論

美濃孝二

正職員の処遇が未定
指定管理以降、希望通り働き続けることができるかどうか正職員は不安をもっている。



10月にもまたアンケートをとり面接も行う予定であり、まだはつきりと決まっていけない段階では指定管理への移行は認められない。

●平成24年度
一般会計補正予算
(第2号)

反対討論

美濃孝二

道の駅開業準備
委託費は問題

騒音測定器設置の予算150万円は賛成であるが、道の駅開業準備のための300万円は、野菜バイキングレストランを前提としてメニュー開発や指定管理者の募集や選定も含まれている。レストランは採算の見直しもせず、費用だけが雪だるま式に増え、今議会に「見直しを求める」要望書が提出されている。にもかかわらず強引に計画を押し進めようとするものである。

提出議案 審査結果と各議員の賛否

平成24年度9月定例会 ○賛成 ●反対 (欠)欠席

平成23年度 国民健康保険特別会計決算	藤堂	蔵升	梅尾	田村	美濃	室坂	浜田	真倉	久茂谷	藤井	中村	日山	大下	箕牧	宮本	亀岡	中田	大林	伊藤	審結果	
平成23年度 一般会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 国民健康保険特別会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 下水道特別会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 農業集落排水事業特別会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 介護保険特別会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 簡易水道事業特別会計決算	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 電気事業特別会計決算	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 芸北財産区特別会計決算	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 診療所特別会計決算	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 情報基盤整備事業特別会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 水道事業会計決算	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度 豊平病院事業会計決算	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
養護老人ホーム仁愛園設置条例の一部改正	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
北広島町火災予防条例の一部改正	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
消防緊急通信指令システム部分改修の製造請負契約	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 簡易水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 電気事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 診療所特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 情報基盤整備事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情審査 町内酪農家の救済支援について	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情審査 「道の駅」第2期工事の見直しを求める要望	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情審査 高齢者施策を担うシルバー人材センターの支援の要請	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情審査 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書について	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情審査 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書について	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議 北広島町議会議員の定数条例の制定(2名削減し18名に)	○	○	○	欠	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 青年就農給付金の迅速かつ完全実施を求める意見書	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※加計議長は採決に加わりません

平成24年度9月補正予算

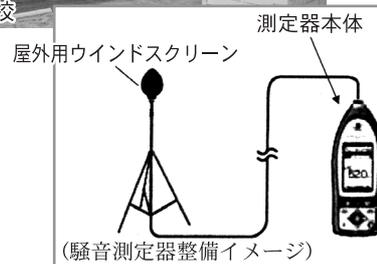
一般会計 1億5,000万円を計上

▼一般会計9月補正予算の概要

- 公共事業（道路、河川など） 1億557万円
- 24年災害復旧 3,479万円
- 壬生小・南方小統合関係事業 1,183万円
- 農地集積協力金 950万円
- 不活性化ポリオワクチン接種事業 316万円
- 米軍機騒音測定器整備 150万円



南方小学校



9月補正予算の規模

会計名	補正前	補正後	補正額	
一般会計	151億9,300万円	153億4,300万円	1億5,000万円	
特別会計	国民健康保険	22億3,200万円	22億8,200万円	5,000万円
	下水道事業	6億9,800万円	7億1,600万円	1,800万円
	農業集落排水事業	3億5,400万円	3億5,600万円	200万円
	介護保険	23億5,020万円	23億5,130万円	110万円
	簡易水道事業	3億900万円	3億1,200万円	300万円
	電気事業	4,690万円	5,180万円	490万円
	診療所	1億7,400万円	1億6,920万円	▲480万円
	情報基盤整備事業	4億2,100万円	4億3,400万円	1,300万円
後期高齢者医療	2億7,480万円	2億7,570万円	90万円	

18議員が町政について問う

どうなる？ 私たちのまちづくり



蔵升 芳信

問

竹下町政3期目で
新町建設計画総仕上げを

答

北広島町の将来へ
展望を切り開く決意だ

の意向と決意を問う。

合併当初、北

広島町は財政破綻をした夕張市に近い財政状況にあった。

以後2期8年にわたる竹下町政は、道路整備等町民に我慢を求めた面もあるが、膨大な膨らんだ公債(借金)残高、皆無に近い財政調整基金(貯金)も、行財政改革の着実な実行により大きく改善が図られた。

また、企業誘致・定住促進対策等様々な取り組みにより、人口減少にも歯止めがかかってきている。
しかし、やりかけた仕事、残された課題も多くある。2期8年の総括、3選目への出馬

問

竹下町政3期目で
新町建設計画総仕上げを

答

北広島町の将来へ
展望を切り開く決意だ

の意向と決意を問う。

しかし、新町建設は道半ばであり、三たび

町民の皆様のご信託を得て、長い行政経験を活かし、知恵を出し工夫を凝らし、本町の将来への展望を切り開き、元氣を実現していく決意だ。

この間、歴史的な政権交代や金融経済危機などもあった。

旧4町をとりまとめ、破綻状況に近い財政の再建など、町政の道のは大変険しいものがあったが、新町としての確かな基礎・基盤が固まりつつある。



→北広島町役場



真倉 和之

問

北広島町の
義務教育現状を問う

答

基礎基本的な学習は
定着が図られている

問

北広島町義務
教育振興計画

「きたひろしま・夢まなびプラン」では教育の質的課題で、基礎的学力の一層の定着向上が強く求められている。小中学校の基礎基本の定着状況調査で、県下の平均通過率を上回っているが具体的に問う。

答

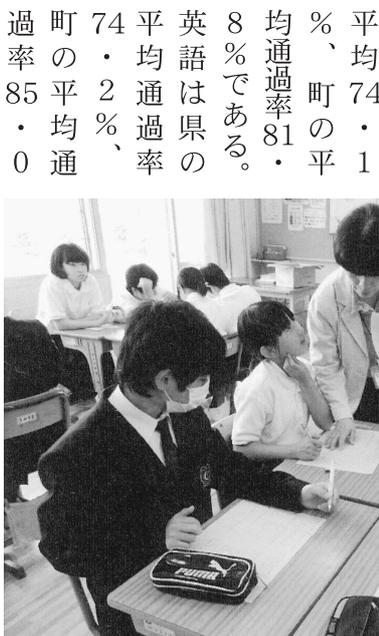
教育長

基礎基本学力

定着状況調査は、毎年6月県内の小学校5年生中学校2年生を対象に実施され、児童生徒一人ひとりの学習状況、生活習慣の状況を把握し、課題に基づいて指導改善を推進することが目的だ。今年度の結

果については、小学校の国語は県の平均通過率75・8%、町の平均通過率81・3%、算数は県の平均通過率75・0%、町の平均通過率78・5%。

中学校の国語は県の平均通過率81・0%、町の平均通過率83・9%で、数学は県の平均74・1%、町の平均通過率81・8%である。英語は県の平均通過率74・2%、町の平均通過率85・0



→小学校授業風景



梅尾 泰文

問

汚泥処理の悪臭対策は

答

住民と連携し対応していく

問

9年前から千代田地域の有岡谷で汚泥処理工場が稼働している。近隣地区の団地などは、悪臭が強い。健康被害（眠れない・ノイローゼ）などの苦情が出ている。役場にもその実態は伝わっていると思うが、臭いのもとは何か、どこから何トン来ているのか、そしてその対策は。また、工場の隣で和牛を飼っているが、関係地区や水利権者への事前協議が必要ではないのか。

答

副町長 呉市の浄化センターから下水道汚泥が年2500トン来ている。

問

産業課長 有田牧場は農事組合法人が肥育牛を2頭飼っている。

問

臭いを取り除かないかぎり、どこかでは臭っている。下流域での水質も悪化している。

問

答弁から被害民の思いが伝わっていない。臭いのもとを取り除くことは今の科学の力で出来ると思う。悪臭による規制をしっかりと行い改善をするよう指導強化を図られたい。

答

町長 住民の生活環境を改善していくために、住民の皆さんと連携して対応していく。

答

副町長 これまで事前警告をし、改善工事を行ったが、臭気指数は高い数値が確認され2回目の警告を行った。それでも臭いと苦情はある。臭気測定を今後も行っていく。



→有岡谷汚泥工場(和牛もいる)



日山 静樹

問

「いじめ」問題を問う

答

未然防止に取り組み 早期発見・早期対応する

問

全国各地でいじめ問題に対する教育現場での対応に不信が高まっている。広島県は、いじめは493件と報告しているが本町の現状は。

問

学級担任やスクールカウンセラーによる個人面談を行っている。児童生徒の保護者からの相談で発覚する場合もある。対策は、学校として生徒指導部会を開き協議し全教職員共通認識のもと、取り組んでいる。

答

生徒は。 過去2名いた。 学校教育課長

答

学校教育課長 21年〜23年度は8件。今年度は大津市のいじめに関する問題が大きく報道され、7月になって7件報告があったがすでに取り組み解決した。

問

これからも起こり得る、いじめに対して今後の取り組みは。

問

精神疾患「心の病」で教職員の休職者が増加していると聞くが本町の状況・対応は。

答

教育長 巧妙化・陰湿化する場合もあり継続的な子どもを観察や聞き取り等、教職員がアンテナを広く張り再発防止に努める。

答

教育長 現在7名が休職、その内5名はメンタルヘルスが必要な病名を受けている。校長会・教育委員会で取り組み、健康で職務に専念できる職場環境の実現に向けて取り組む。

答

学校教育課長 調査は、毎学期児童生徒アンケート、

問

いじめが原因での不登校児童



中田 節雄



↑北広島町役場 窓口

問

介護福祉の相談窓口として
専門員の設置は

答

すでに設置しているが、
より一層周知する

問

団塊の世代が65歳になり、介護福祉の問題が多くなると考える。一人ひとりの条件が異なっており、介護未経験の方にとって、対応の仕方、費用負担について、相談窓口と専門員の配置が必要ではないか。

答

保健課長
役場保健課に、専門機関として地域包括支援センターを設置、各支所の保健センターで相談窓口を設けている。支援センターでは、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士の専門員を置き相談を受けているが、アンケートでは34・5%の認知度であり、今後も、きたひろネット・広報誌でより一層周知をしていく。

問

商工会青年部への活動支援を充実するべきでは

答

商工会青年部は様々な活動がされている。先般「婚活」イベントを開催され、多くの参加者があり、18組のカップルが成立したと聞く。この活動は定住促進であり、この活動を支援し、発展させていくためにも助成制度を創出すべきと考える。

問

町長

国からの支援も用途について細かい制限を設けない方向に転換しつつあり、商工会青年部が、自ら地域を考えていこうという活動について、どういった支援ができるのか大いに検討していく余地がある。

問

前回、集落維
持問題で全町的
なプロジェクトとして
取り組むとの答弁であ
ったが、その後は。若者
定住は集落や町を元
気にする、それには町
民と協働で取り組む必
要がある。商工会が若
者定住促進委員会を発
足させた。また、青年
部は婚活事業を行う
など定住促進に立ち上
げている。町を挙げた
組が急務と思うが考
えを聞く。

問

問

若者定住の促進を

答

若者定住促進委員会を
立ち上げる



藤堂 修壮

答

副町長

大きな成果があり支援をする。若者定住促進委員会は商工会と連携し年内に検討会議を足させたい。若者のニーズに合った施策の実施を来年度から取り組む。

問

悪臭問題

芸北小原地区
では毎日の悪臭
で住民は頭を抱えてい
る。業者と行政として
地元による公害防止協
定が結ばれているが
たして協定書どおりに
公害が防止されている
のか。また、地元は臭
気観測を行っているが、
それによると1日たり
とも悪臭のしない日は
ない。これらの問題を
どのように解決するの
か。

答

現在調査している悪臭発生原因は、豚舎の換気扇や堆肥の運搬作業中、また堆肥処理中に悪臭が発生すると考えている。地元での臭気観測資料も参考に、今後も業者と協議し悪臭問題解決に取り組む。

企画係長
集落問題は現在関係課で検討会議を立ち上げている。年内には行政や各種団体地域での検討会議を立ち上げ、問題の洗出しを実施する。婚活事業は



→養豚場



室坂 光治

問

安全な生活道対策を問う

答

今後も道路維持管理に
つとめる

問

昨年12月定例会で県道・町道のセンターライン、外側線等について質問したが、未だ手付かずの箇所もある。今からは日も短くなる、子どもの下校時の安全対策はどのように講じられたのか。また、交通安全施設事業実施の予定は。豊平には小規模住宅団地が多くあるが、メイン通りの道に損傷箇所が多くあり住民は困っている。修繕はできないか。その他、豊平で実施された町政懇談会での要望について道路管理者として回答を求める。

答

建設課長

平成24年度に
おいては、これまでに

道路区画線の施工を3.3キロメートル実施していく。今後も道路維持管理については、支所との連携と町民の意見を聞きながら実施をしていきたい。団地内道路の私有地の関係については、地元施工支援事業で対応できるところで、こころした事業の活用、また開発事業者に対し町の方から要請して問題解決していく。懇談会の回答ですが、今後現地調査等

おこない改良や修繕整備方法等について検討し、順次取り組みをおこなっていく。また、県に要望する事項、地域もあるので調整をおこなっていく。



→団地内メイン通りの状況



亀岡 章治

問

新町建設計画は旧4町住民の
願い完全実施を求める

答

新町建設計画一辺倒は
如何なものか

問

北広島町が誕生して7年と7ヶ月が過ぎた。国の財政がひっ迫する中、歳出削減を目的に、アメとムチで強力に進められた合併と言える。地方の財政も厳しく町の将来へ不安を抱きながらも、旧町住民の願いを合併協でまとめたものが、新町建設計画と認識しているし、新しい町づくりの根幹と言える。合併後の新町建設の進捗状況はどうか。

答

企画課長

全体405事業中244事業の着手及び完了が60%。全町域対策事業は、事業費ペースで92%の完了。地区別事業では、芸北44%、大朝26%、千代田

45%、豊平26%、全体では47%の着手及び完了である。

問

制限のある計画である。全体としての進捗率が低いし、合併町であるが故に、地区別事業執行の平準化が必要ではないか。

答

町長

地域間に於いて事業費ペースで格差が生じているが、事業数では格差はない。計画熟度、緊急度等に配慮し推進している。

問

新町建設計画の期限内実施の方針確立が必要ではないか。



→大朝からしる館



藤井 勝丸

問

きたひろネット損害賠償
請求事件の責任を問う

答

議会の承認も得、大方の町民
からの理解も得られている

問

工事遅延で国の交付金が減額され約4億円の財源が不足し、工事業者に損害賠償を求めている。その後合併特例債を充てることと認められたが約5700万円の負担、その他の損害を入れると約7000万円となる。町は工事業者との和解に当たり「財政上の措置ができて損害は回復し、損害ではなく財政上の必要経費」と説明し、方針を変更し損害賠償をあきらめ業者と和解した。町に責任がないのなら訴訟して争い、すじを通すべきではなかったか。議会は賛成11人、反対9人。

答

町長
財政上の措置を受け工事は完成し、議会の承認は得た、大方の町民は理解している。

問

道の駅「舞口」第2期工事の見通しを求める意見書の対応を問う。

答

町長
①工事入札応札無し
②工事の遅れなど計画変更はないか
③高級レストラン用の厨房機器、設備費が当初予算の約3倍になっている
④グラウンドゴルフ場は公認コースとして使用できるのか

原因と責任を明確にしたと言えるのか、町民の理解は得られていると思うか。

町長
⑤町民からの見直しを求める意見書の対応は

①さまざまな要因があり確定的なことはいえない。
②計画通り来年7月開業をめざし計画を進める。
③専門家の意見を聞き進めている。
④公認コースとして使用できる。専用使用はできないし使用料が必要となると思う。
⑤どこを見直すのかはつきりしない。一部に誤った情報により誤解されていることもある。



箕牧 智之

問

葬送と火葬場のあり方を問う

答

慎重に対応したい

問

人生の終末・葬送と火葬場について議論したい。近年は葬儀も多様化している。旧4町にはそれぞれ火葬場があり大半は地元火葬場を利用している。超高齢化時代になり、同日複数の町民が亡くなっていかれる例もある。その場合豊平においては豊平、千代田の火葬場を使用することに。しかし、千代田火葬場の許可はするが霊柩車は出せないという実態があり、世話をする講中はあわてて他から霊柩車を頼んでことなきを得た例もある。町内葬儀がどこであっても、窓口をひとつにして霊柩車と火葬場の使用ができる

答

副町長
体制にすべきではないが、また、豊平の火葬炉は増設が可能な造りになっている。一基増設すべきではないか。

答

町の霊柩車は

儀もあると想定しているが、火葬申し込み時、霊柩車の手配には万全を期して対応したい。
現在火葬炉は町全体として不足はしておらず、増設は考えていない。

芸北、千代田、豊平地域に1台ずつ配置している。
千代田地域の霊柩車は「慈光苑」の火葬時間が1時間おきと定められている。葬送時間を片道30分以内と考えており、豊平地域は阿坂、下石、志路原までは運行するがそれ以外は豊平の霊柩車で対応してきた。
今後複数同時葬



→ 豊平 光寿苑



中村 勝義

問

農水省は今年度から市町村を通じて地域ごとに人・農地プランを作成するよう呼びかけている。新たに独立して農業を始める人に対し、最長5年間にわたり150万円が給付される。給付を受けるには人・農地プランに位置づけられる必要がある。地域農業推進対策協議会で審査、認定し、マスタープランとして正式決定することになっている。現状は。

答

産業課長

21集落からプランの提出があった。検討会議で審査中。地区別状況は芸北地区7、大朝地区2、千代田地区8、豊平地区4である。

問

人・農地プランの審査、認定、決定状況は

答

決定に向けて詰めの事務を行っている



→トマトハウス内での収穫

IP電話

不通解消と今後の事業展開は IP電話番号とNTT電話番号記載の電話帳が配布されたがつながらない番号がある。これの解消と今後の利活用に向けての展開を問う。

答

きたひろネットセンター次長

平成23年11月1日現在



大林 正行

問

道の駅の運営は、指定管理・独立採算で町からの持ち出しはないのか。

答

産業課長

産直物販施設とレストランについては、民間事業者に運営を委ね、独立採算で経営する。

問

集客数や収支見込みを示してほしい。

答

産業課長

収支モデルを町が示すと業者の経営を束縛し、業者の選定に支障があるので検討する。

問

道の駅見直し要望に対する町長見解は

答

間違った情報による誤解である

問

道の設備で始めて必要があれば増設すればよい。費用対効果の検証はしたのか。

答

産業課長

舞台は文化的価値の高い花田植、神楽等を鑑賞する場であるので、神楽団の代表者や舞台運営の業者などの助言を受け設計をしたものである。

問

日本一大きな太鼓を設置するよりも、道の駅をわかりやすく案内するためには、高速道路を含め全国共通の案内標識を増設するのが先ではないか。

答

産業課長

2期整備の中で誘導が出来る案内看板の整備を行う。

問

舞台装置や照明、音響は最小

答

産業課長

応札なしの要因は確定的に言えない。再入札は今月中に公告



→道の駅案内標識



宮本 裕之

問 中山間地域における公共事業の重要性を問う

答 公共事業費の確保と入札制度の見直しを行う

問 公共事業の減少と価格競争の悪循環で、全国的に建設業界は危機的状況が続いている。建設業の倒産はこの10年間で200万人からの失業者を出しているが、新たな雇用対策の進展は見られない。中山間地域の公共事業は都市部の事業と性質が違い、地域の雇用を生むことで田畑や山林を保全し環境を守ってきた。建設業者の倒産が続くと、災害や緊急時の対応もできなくなり、冬季時の除雪も困難になってくる。本町における公共事業の取り組みを問う。

答 町長 合併以後、建設業者の倒産は4件あり、公共事業の削減等が影響している。建設業は災害時の対応や除雪等、町民の生活の安心安全を守る重要な役割を担っている。今後、新町建設計画を含めた事業費の確保と、地元

業者の健全育成を考慮し、総合評価方式入札制度の見直しを行う。

これからの学校カウンセリングの取り組みは

問 大津市の中学生自殺事件を重くみた文部科学省は、全国の公立中学校全てにスクールカウンセラーを配置し、いじめや不登校の対応にあたりと発表した。本町の取り組みは。

答 学校教育課長 現在本町の公立中学校には、スクールカウンセラーを全て配置しており、様々な問題に対応している。いじめ・不登校の予防に重点を置きたい。



→河川災害



美濃 孝二

問 ソフト過疎債で集落支援員、冬季安全保安員の配置を

答 集落検討会議で検討する

問 北広島町の過疎化は極めて深刻で、対策は待ったなし。国は7割を交付税措置する過疎債の有効期限を延長し、医師確保・生活交通・集落の維持や活性化などのソフト事業にも使えるようにした。集落に人がいなければ他から人を送ることもできる。当面、集落を巡回し調査する集落支援員や、お年寄りの除雪を支援する冬季安全保安員を配置してはどうか。

答 豊平病院 事務部長 奨学金を使うことを検討していければと思う。

問 身近な住民の砦である支所に「予算と権限」の強化を。

答 企画課長 必要な意思決定と財源の確保は行っている。

問 迷走する道の駅、産直施設を中心に見直しを

答 1社も入札参加しなかった理由

問 現在だけでなく将来の豊平病院内科医確保に活用できるか。

答 産業課長 産業的なことはいえない。

問 設計価格は適切だったか。

答 産業課長 適切である。

問 グラウンドゴルフ場はどうか。

答 産業課長 常に専用でなくとも公認コースを取得することは可能。

問 4024名の要望を聞かず、内容も説明しないまま再入札することは、議会・町民無視である。

答 町長 入札の仕様内容の答弁は差し控える。今後とも粛々とすすめていく。



伊藤 久幸

問 尖閣諸島、竹島の領有権問題で中国・韓国では反日デモが連日報道され我が国を侮辱する行為（日本国旗を焼くなど）また、日系企業、日本人まで被害が及んでいる。愛国心を誇りに思っている郷土・家庭・友人を思う心の教育は全て連動する。そうした心の教育指導により虐待いじめ等々は減少するはず。本町のこれからの初等中等教育方針を問う。

答 学校教育課長 山県郡2町の教育委員会で構成する教科書採択地区協議会の調査員で教育理念、目標内容にのっとり適切な教科書を採択している。

問 ゆとり教育、学校週5日制の是非は。

答 学校教育課長 近年問題視されている。新学習指導要領に基づき基礎基本的知識・思考力・判断力・表現力の育成強化、また週5日制のもとで授業増を実施、成果や課題が現れる中で学校週5日制等々について検討していく。

問 愛国心郷土愛の教育指導は

答 教育長 道徳の項目で指導、領土や伝統文化を大切に先人の努力を知り国を愛する心の指導、中学では日本人として自覚を持ち世界平和・人類幸福に貢献するという内容。小中学校教育は、学校と地域家庭が同等に責任分担連携が必要。体力向上を重視、体徳知が基本方針。



→ 本地小学校運動会

問 初等・中等教育方針を問う

答 学校と地域家庭が同等に責任分担連携が必要



浜田 芳晴

問 ①バス乗り入れ個所の状況は

答 ① 学校教育課長 バス回転場の状況については、今年不在地主の方と借地契約をおこない、警察及びバス会社と協議を行った上で整備を進める。

② 町長 豊平地域のセンタープールとして、



→ 豊平中学校(工事中)

問 豊平学園(仮称)周辺整備は

答 プールは運動公園に調査費計上

問 ③建設課長 町道整備については、前後は整備済みとなっている区間で現況は山道的な状況である。駐車場整備に合わせるとのことだが、今回この個所は駐車場整備計画地となっていない。

先ずは、水源調査を実施し、現場についてはこの結果をもとに検討をいたたく。将来的にはレジャープールの計画もあり、宿泊施設付近への整備については、敷地スペースが確保困難かと思う。

問 高齢化が進み草刈等困難な状況がある、集落維持に対する対策は

答 企画課長 集落支援策についてチームをつくっているが、その中で高齢者の草刈支援対策等も検討したい。



→千代田中央公民館場所、財政状況もある。



大下 正則

問

北広島町の現状は、千代田中央公民館は築41年と老朽化、千代田に保健センターは無い、旧千代田町役場の跡地利用が

問

「ふれあいセンター」建設の見通しは

答

必要性は認識しているので検討する

なされていない。社協千代田支所は福祉の拠点としてふさわしくない、等々。
新町建設計画に公民館及び保健福祉センターの機能を合わせた「ふれあいセンター」を旧千代田町役場の跡地に建設する計画があったが、先の新町建設計画事業仕分では「廃止」となっていないかったと認識している。この計画の見通しについて問う。

答

町長 ふれあいセンターの必要性は認識している。役場周辺の既存の施設との整合性と有効活用、跡地利用の観点から機能、内容、規模、建設



→旧千代田町役場跡地

また合併特例債も5年延長されたが急ぐことも考慮する。今後大きな課題と認識しており、事業のあり方等の検討を進めていきたい。



→さつきが丘保育園

問

現在、本町には公立保育所5カ所、定員180名と、私立保育所8ヶ所定員



久茂谷 美保之

問

将来の保育所運営は

答

それぞれの特色で保育サービスをしていく

435名で、児童福祉法に基づき、保育に欠ける乳幼児の保育として2本立てで運営されている。将来の少子化社会の中でどちらの方向を目指しているのか、また、認定こども園についての方針はどのように考えているのか。

答

福祉課長

将来の方向については、私立保育所の皆様と話し合っているが、現在それぞれの特色によって保育サービスをを行っている。今後少子化状況は避けて通ることの出来ない今日であるため、今後国の



→つくし保育所

方針も含めて検討する。また、認定こども園については義務づけられていないため、今後保育所運営の中で考える。

10月10日
～10月12日

▼委員会報告

▲文教厚生常任委員会

群馬県千代田町の 介護予防施設をたずねて

「健康長寿、生きがいのある在宅生活」総合福祉センターに視察研修に訪れた。人口12,000人の町が栄えている原因はなんといつても関東平野にあることである。芝生のなかに大きな窓、天井の下で高齢者の健康づくりの取り組みは目を見張るものがあった。町の施設を社会福祉協議会が指定管理者として運営している。自立支援型、デイサービスの基本料1日300円との

ことでした。ほかに機能回復訓練事業と家族教室事業があり利用者の笑顔が印象的であった。また北広島町の障害者とは年賀の交流もあるといわれ親しみを感じながら研修した。



群馬県千代田町総合福祉センター内にある自立支援サービスセンター

日本のトップアスリートを育てる施設 国立スポーツ科学センターを

視察

(東京都北区・赤羽)

オリンピック選手をはじめとする日本のトップアスリートを育てる施設が東京にあると聞いて視察研修した。大きな高層ビルの中に全スポーツの選手のトレーニングから科学研究、情報研究、医学研究施設すべてが揃い日本が世界の強豪選手と闘っても充分な環境が整っていることにびっくり。陸上では酸素の少ない高地でのトレーニング施設、ボールを使うすべての競技、

ボクシング、レスリング、体操、水泳、射撃、トランポリン、カヌーなどの施設を見学、有名選手たちの練習を見ながら選手たちの厳しいトレーニングの様子を垣間見ることができた。



国立スポーツ科学センター内の温水プール

被災地の福祉(福島県浪江町)を視察研修 仮設住宅に暮らす 高齢者の現状は

高齢者の現状は

昨年3月11日、東北地方を襲った地震、津波に追い打ちをかけた福島原発の事故から1年7か月、福島県にある原発周辺の県民は生活さまを大きく変えた。8月6日浪江町の馬場有町長は広島へ来られて放射能で汚染された町の現状を訴えられた。我々7名の常任委員は現地の仮設住宅で暮らす高齢者の実態を研修した。浪江町は放射能によって汚染されているために町民は全員町外で生活されている。町民の大半は二本松市で暮らしているというところで震災以来四度目の役場移転を経て新しくプレハブの庁舎が完成していた。

町長、議長、担当職員から説明を受けた後、仮設住宅で暮らしている現地へ向かう。大半は高齢者ばかりで住宅のそばには放射線の測定器が設置され、常駐している医師によって内部被曝の検診、診療所も整えられている。また十分な施設ではないが通所リハビリ施設も完備されていた。しかし住宅



安達運動公園仮設住宅団地(二本松市)

内は狭く夫婦のみで生活される程度の広さであった。生活排水の浄化槽は地上に沢山のタンクが設置されており、そこはかなりの臭いが気になった。しかしそこで暮らしている人たちは明るく我々を迎えてくれた。人口2万人の町は震災で184名の町民を失いつらく悲しいなかを一生懸命に暮らしている姿を実感した。そして被曝の不安、避難生活の長期化で体調の悪化を心配されていた。町民全員に「放射線健康手帳」を配布、内部被曝、がん検診、通院の履歴など書き込むようになっていた。

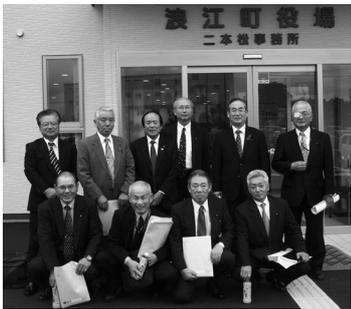


野外設置の放射線測定器

子どもたちの健康管理は18歳まで医療費全額補助になりほっとされていた。馬場町長は広島市より健康管理のアドバイスを受け感謝の言葉もあった。これから長期化するので町民の絆を深めるために町民の交流会、伝統行事なども復活させて元の浪江町に戻れるよう頑張りたいとのことであった。

原爆を経験した広島の人間は核と人間は共存できないことを知らされていたが原発事故によって改めて感じた研修であった。

浪江町民一致団結されてこの難局を乗り切らなければ明日はないとの町長の言葉が印象的であった。



福島県浪江町役場二本松事務所前

陳情審査 「道の駅」第2期工事の

見直しを求める要望

賛成討論

賛成討論

美濃孝二

委員会から納得できる説明がない

要望書が指摘するように「事業の必要性や費用対効果、採算性等」について審査した産業建設常任委員から納得できる説明がない。さらに「巨大な太鼓、文化ホール並

の舞台、3000万円の台所」に対し批判があり「見直して町民の意見を聞く」ことは同感である。議会運営委員会で要望者の意見を聞くことを確認したが意見を聞かず採決したことは納得できない。

北広島町議会議員定数条例の制定

反対討論

反対討論

美濃孝二

議会の力を弱め、

町民の利益に反する

今、信頼される議会をめざし議会基本条例(案)の制定に努力している。前文で「町長と独立、対等な関係」「責務は、町民の多様な意見を反映した意思決定、行政執行の監視役、町民の利益を図る政策提案とし、町民参加型、開かれた議会への転換で福祉の増進に貢献する」ことを決意している。これから議会が変わろうとしているとき、定数を削減することは議会の力を弱めるだけであり、町民の利益に反する。

賛成討論

中村勝義

合議制という前提条件を

侵さず妥当

地方議会の役割と責任はこれまで以上に大きくなることが予想され、議会改革は待ったなし。定数は民意の求める最優先課題であるため、議員の性格、定数について議論してきた。議会は多様な意見を吸収し様々な視点から議論する場だが、定数拡大に結び付けることは困難である。地域性を重視しながらも、町全体の発展に向け負託にこたえることが今強く求められている。合議制という議会の前提条件を侵さない範囲で18名は妥当である。

意見書提出(議員提案)

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

1. 肝炎対策基本法のもと必要な法整備、予算化を進め全患者の救済を図ること。
2. 肝炎治療費の公費支援制度を確立し法が定めた患者への支援策を進め、障害者手帳が交付できるようにすること。
3. 肝炎ウイルスの未検査者、ウイルス陽性者の未治療者の実態を調査し、早期発見・早期治療の施策を講じるとともにウイルス肝炎への偏見差別を
4. 解消、薬害の根絶を図ること。薬害肝炎救済特措法による救済の枠組みを広げ、特定血液製剤による感染可能のある薬害C型肝炎患者を救済するとともに同特措法の延長を図ること。

【提出先】

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 法務大臣 財務大臣 厚生労働大臣

地球温暖化対策に関する

「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

- 二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること
- 【提出先】
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 国家戦略担当大臣 農林水産大臣 環境大臣 経済産業大臣 厚生労働大臣

青年就農給付金の迅速かつ完全実施を求める意見書

1. 青年就農給付金を安定的かつ持続的な制度に確立するため、要件を満たした青年にはすべからず給付すること。また、国において十分な財源確保を行うこと。
 2. 制度要件の見直し及び事務手
- 【提出先】
農林水産大臣 財務大臣
- 続きの簡素化を図り、青年就農給付金が真に必要なすべての青年に対して円滑給付ができるようにすること。

がんばっています！



美和小学校(21名)

美和小学校は「未来に生きる体・徳・知の基礎づくり」を学校教育目標として統合前の最後の取組をしています。全ての教育活動には、粘り強く心身を鍛える自己教育力が重要です。そこで、第一に体力(耐力)向上を進めています。

スポーツ少年団に入り、保護者・地域の方の指導のもとソフトボール・剣道・スキーによる体力向上も進めています。

来年度の統合後も、美和小学校で身につけた力を発揮して活躍できるように、教職員一丸となって学校教育目標達成に向けてがんばっています。

早朝より北広島っ子体操や一輪車の練習を、業間には八秒間走やマラソンなどを実施し、定期的に体力テスト向上強化週間も設定しています。「朝に百、夕に百」と竹刀の素振りも毎日続けています。

また、児童全員が心の教育の面では、立ち止まってあいさつをしてコミュニケーションをとることの大切さを、学力向上の面では、論理的に説明できる力を育成するために説明文学習の研究や、メモを取り説明に活かす学習に力を入れています。



運動会

豊平東小学校(27名)

今年豊平地域の小学校では、平成25年度の学校統合に向けて、新しく学校をそして教育内容をよりあげていく創造的な活動と、24年度末に閉校する3つの小学校を閉じていく取り組みを並行して行っています。



創り上げる活動は夢を現実にしていく活気あふれる活動なのですが、閉じていく取り組みには、行うたびに寂しさが伴います。豊平東小学校では、本年度の学校行事を広く地域の皆様に開放し、参加していただくことで、一年をかけて豊平東小学校と別れをしていただくことを考え、行事の内容を工夫しています。5月の運動会では、閉校記念事業実行委員会担当

とおじいさんおばあさんのふれあいは、見ていても温かいほのぼのとした印象を受けました。

10月20日(日)には、お別れ学校行事第二段として、学習発表会を行いました。午前中は、小学校の学習発表会で、午後のプログラムを地域に呼びかけ、双葉保育園・PTA有志・地域の有志の方々・読み聞かせボランティアの皆様、そして、上石子ども神楽会の皆様に出演していただきました。演目は、歌、お遊戯、銭太鼓、豊平の昔話、神

楽と多彩で、会場には笑顔と拍手があふれていました。

この行事で一番うれしかったのは、子ども達がお客様お一人お一人に「おはようございます。」「ようこそお越しくださいました。」と声をかけお迎えしてくれたことです。豊平東小学校最後の在校生として、伝統を引き継ぎ、守り育ててくれたいる様子が良く表れて、胸に熱いものがこみ上げてきました。



全校合唱

グループ紹介

わさんちゆ 大朝人くらぶ



わさんちゆ
大朝人くらぶでは、月2回、大朝B&G海洋センター体育館でフットサル教室を行っています。現在は小学生から大人まで、15名程度で練習しています。

大朝小学校・新庄小学校の子どもたちが、学校や学年・世代の垣根を超えて活動するフットサル教室は、新たな人間関係の中に友達への「思いやり・やさしさ」なかには「リーダーシップ」が芽生える子もいます。

多くの人とふれあいを持つことにより、『挨拶すること・人の話を聞くこと・人と会話すること』など、プレーだけでなく、人としての基本的な部分が育まれるよう、また、頑張っている子ども達を精一杯サポートすることにより、遊びの中から「自らを考えチャレンジしていく」そんな姿勢を引き出すことを大切にしています。



表紙の写真

乙九日炎の祭典

9月29日(土)雄

鹿原亀山八幡神社を中心にして「第20回乙九日炎の祭典」が多くの参加者のもと盛大に行なわれました。



あいに くの小雨降る夜でしたが暗やみから甲冑を着た武者行列を先頭に松明行列が浮び上がって押し寄せる様は、室町時代にタイムスリップしたかのようでした。又厳肅の中、大松明を6人が2組に別れ古式豊かに舞う姿は、伝承文化に触れた気がしました。

今迄20回も継続され、益々盛大になっている「炎の祭典」を執行されている地元の方々に敬意を表したいと思えます。

あしがき

今年はロンドンでオリンピックが開催され過去最高の38個のメダルを獲得し、引き続き開催されたパラリンピックでも素晴らしい頑張りを見せ勇気と感動を与えてくれました。広島でもサンフレッチェとカープが例年になく好調で、明るい話題の少ない広島に元気を与えてくれました。一方政治に目を向けると竹島や尖閣諸島をめぐる領有権問題が勃発し、日本では考えられない報道映像を目にしています。そのため、私たちに元気を与えてくれるスポーツまで巻き添えを食い、大会の中止や出場辞退などが発生しアスリート達の落胆ぶりに心が痛みます。

